

～千里ライフサイエンス新適塾～

「脳は面白い」第 54 回会合

『睡眠とその関連行動の比較生理学』

講 師： 乗本 裕明 （のりもと ひろあき）

名古屋大学大学院 理学研究科 神経行動学 教授

日 時： 2026 年 9 月 30 日(水) 17:30～20:00

会 場： 千里ライフサイエンスセンタービル

講演会：17:30～19:00 6階千里ルーム A(WEB 配信併用)

懇談会：19:00～20:00 5階もしくは6階 会場

懇談会を予定しております。**是非会場にお越しください。**

参加費： 講演会、懇談会とも無料

1. 参加登録 事前申込のみとします。(締切:2026 年 9 月 25 日(金)12 時)
2. 募集定員 会場参加 80 名、オンライン参加 200 名
3. 参加希望者は、当財団ホームページの「参加申込・受付フォーム」からお申し込み下さい。 URL: <https://www.senri-life.or.jp/event/6002>
4. オンライン参加登録者には開催日の前日までに参加方法をお知らせします。

*** オンデマンド配信は予定しておりません。**

コーディネーター： 古川 貴久 （大阪大学 蛋白質研究所 教授）

山本 亘彦 （大阪大学 名誉教授）

主 催： 千里ライフサイエンス振興財団

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1丁目4番2号

千里ライフサイエンスセンタービル20階

E-mail: ono-2024@senri-life.or.jp TEL: 06-6873-2006

WEBSITE: <https://www.senri-life.or.jp>

新適塾「脳はおもしろい」第 54 回

睡眠とその関連行動の比較生理学

乗本 裕明 (のりもと ひろあき)

名古屋大学大学院 理学研究科 神経行動学 教授

講演要旨

全ての動物が眠るが、その根本的な理由はいまだ明確ではない。また、一部の哺乳類は冬眠するものの、冬眠時の脳状態が哺乳類と爬虫類でどのように異なるのか、さらに爬虫類における睡眠と冬眠の差異も十分には理解されていない。

私たちは近年レム睡眠の存在が報告されたベアーデッドドラゴン (*Pogona vitticeps*) を用いて、睡眠と冬眠の神経メカニズムを研究している。本講演では、このドラゴンに加え、マウスおよび新たに導入した規則的な睡眠周期を示すげっ歯類モデルのデータを比較し、種を超えて保存された睡眠・冬眠時の神経ルールについて議論したい。

参考文献

1. Hatori, S.*, Yamaguchi, ST.*, Kobayashi, R., Okamoto, K., Zhou, Z., Kotake KT., Matsui, F., Hioki, H., Norimoto, H. Sleep homeostasis in lizards and the role of cortex. *Proc. Natl. Acad. Sci. U. S. A.* 122 (16) e2415929122, 2025
2. Fenk, L. A., Riquelme J. L., Laurent G. Central pattern generator control of a vertebrate ultradian sleep rhythm. *Nature* **636**, 681-689 (2024)
3. Norimoto, H.*, Fenk, LA.*, Li, H., Tosches, MA., Flores, TG., Hain, D., Reiter, S., Kobayashi R., Macias, A., Arends, A., Klinkmann, M., Laurent, G. A claustrum in reptiles and its role in slow wave sleep. *Nature*, 578(7795):413-418, 2020

講師略歴

2016 年	東京大学大学院薬学系研究科 博士課程修了
2016 年	理学研究所脳科学総合研究センター 基礎科学特別研究員
2017 年	マックスプランク脳科学研究所 研究員
2021 年	北海道大学大学院医学研究院 准教授
2024 年	名古屋大学大学院理学研究科 教授